

Windows 10 にアップグレードする場合

スタンドアロン版・ピアツーピア版のホストのコンピュータがWindows 8/7の場合で、Windows 10にアップグレードする場合の手順を説明します。

Microsoft SQL Server 2008 R2/2008/2005（以下、IBSQL Server）は、Windows 10で動作保証されていません。そのため、Microsoft SQL Server 2014 SP1/2012 SP2をインストールする必要があります。Windows 10対応版の『大臣シリーズ』のセットアップCDからは、Microsoft SQL Server 2014 SP1 32ビット版（以下、SQL Server 2014）をインストールします。



SQL Serverで動いている『大臣シリーズ』以外のソフト（以下、別ソフト）を使用している場合は、別ソフトがWindows 10・SQL Server 2014 SP1/2012 SP2で動作保証していることをご確認ください。動作保証している場合は、別ソフトのデータの保存・プログラムのアンインストールをした後で（手順は別ソフトの販売先にお問い合わせください）、この資料の移行手順に従って処理を行ってください。処理終了後、別ソフトのセットアップ・データの復旧をお願いします。

① SQL ServerのバージョンとService Packのバージョンを確認します。

1. トラブルシュートを開きます。

《Windows 8をご使用の場合》

Windows 8.1の場合はスタートメニュー画面左下の⓪アイコンをクリックしてすべてのアプリ一覧を開きます。Windows 8の場合はスタートメニューを開きます。

[トラブルシュート]をクリックしてください。

《Windows 7をご使用の場合》

タスクバーの[スタート]—[(すべての)プログラム]—[大臣シリーズ管理ツール]—[トラブルシュート]をクリックしてください。

2. 「001.簡易クエリツール」を選択し、[実行]をクリックしてください。

データベースサーバーの接続画面で[接続]をクリックします。

3. 簡易クエリツール画面で

データベース：master

選択SQL文：001：バージョン情報の表示

を選択し、[SQL文実行]をクリックしてください。実行結果欄に、以下のように表示されます。

AA. BB. CCCC. D SPX Desktop Engine

（AA、BB、CCCC、D、Xは数字です。Dがない場合もあります）

AAの値によって、Microsoft SQL Serverのバージョンが確認できます。

AA	Microsoft SQL Server
12	2014
11	2012
10	2008 R2/2008
9	2005

Microsoft SQL Server 2008 R2/2008/2005の場合 →A

Microsoft SQL Server 2014/2012の場合 →B

4. 【Bの場合のみ】Xの値がService Packのバージョンです。

Microsoft SQL Server 2014の場合はSP1以上

Microsoft SQL Server 2012の場合はSP2以上

であるか確認してください。Service Packのバージョンが低い場合は、Microsoftのダウンロードセンターから「Microsoft SQL Server 2014 Service Pack 1」「Microsoft SQL Server 2012 Service Pack 2」をダウンロードし、インストールをしてください。

《参考》

Microsoft SQL Server 2014/2012のService Packは、32ビット版用と64ビット版用があります。（コンピュータの32ビット版と64ビット版とは違います。）以下の方法でどちらをインストールするのか確認してください。

簡易クエリツール画面で

データベース：master

SQL文：SELECT @@VERSION

（△は半角スペースです）

と入力し、[SQL文実行]をクリックしてください。実行結果欄の1行目に以下のような文字が表示されますので、最後（下線部）を確認してください。

Microsoft SQL Server 2014 - 12.0.4100.1 (Intel X86)

X86の場合は32ビット版

X64の場合は64ビット版

②【Aの場合のみ】旧SQL Serverのインスタンス名を確認します。

1. SQL Server 構成マネージャーを開きます。

《Windows 8をご使用の場合》

Windows 8.1の場合はスタートメニュー画面左下の⓪アイコンをクリックしてすべてのアプリ一覧を開きます。Windows 8の場合はスタートメニューを開きます。

[SQL Server 構成マネージャー]をクリックしてください。

《Windows 7をご使用の場合》

タスクバーの[スタート]—[(すべての)プログラム]—[Microsoft SQL Server 2008 R2/2008/2005]—[構成ツール]—[SQL Server 構成マネージャ(または、Configuration Manager)]をクリックしてください。

2. 左のツリーから「SQL Server のサービス」を選択します。右側にSQL Server サービス一覧が表示されますので、「SQL Server(xxxxx)」のxxxxxの文字を確認してください。

OHKENの場合は、『大臣シリーズ』のセットアップCDからSQL Server 2014をインストールします。

OHKEN以外の場合は、別ソフトからSQL Server 2014/2012をインストールします。

③【Aの場合のみ】アップグレードで引き継げない情報を確認します。

『大臣シリーズ』を起動し、データ選択画面でF1[ヘルプ]をクリックしてください。

「目次」ページの「項目別操作」—「ユーザー別保存情報」を開きます。

このページのリストにある項目は、SQL Serverを入れ替える事により初期化されます。

元の設定で使用したい場合は、ユーザー別に各項目の設定をメモしておき、アップグレード後に設定しなおしてください。

④【ピアツーピア版かつAの場合のみ】『大臣シリーズ』のユーザーを確認します。

『大臣シリーズ』を起動し、データ選択画面でF11[ユーザー登録]をクリックしてください。

登録済みユーザーの一覧が表示されるので、コード・名称・レベルをメモしておき、アップグレード後に登録しなおしてください。

⑤ Windows 10対応版の『大臣シリーズ』を再インストールします。

Windows 10対応版の『大臣シリーズ』のCDをセットし、再インストールしてください。

⑥『大臣シリーズ』でデータごとにバックアップを取ります。

1. ローカルディスクCドライブ（ローカルディスクであれば、Dドライブ等でも問題ありません。）に新しいフォルダを作成してください。フォルダ名はソフト名（例：給与大臣）を付けてください。

次の2～4はデータごとに行ってください。

2. 『大臣シリーズ』でデータを起動してください。場合によってはコンバートが始まりますが、続行してください。
 3. [特殊処理]－[共用データ作成]（『販売大臣』の場合は[データ入出力]－[共用データ作成]）を起動してください。[フォルダ選択]をクリックし（ない場合は[指定変更]をクリックすると表示されます）、1で作成したフォルダを選択、[OK]をクリックしてください。共用データが作成されます。
 4. [作業終了]で[はい]をクリックしてください。[フォルダ選択]をクリックし（ない場合は[指定変更]をクリックすると表示されます）、1で作成したフォルダを選択、[OK]をクリックしてください。データコピーが作成されます。
 5. 全データで共用データ作成・データコピーが終わりましたら、1で作成したフォルダを別のコンピュータや、リムーバブルメディアにコピーしてください。
- ※ 1で作成したフォルダは削除しないでください。

⑦【ピアツーピア版かつAの場合のみ】『大臣シリーズ』クライアントをアンインストールします。

1. クライアントコンピュータで、[コントロールパネル]－[プログラムと機能]を開きます。
2. 『大臣シリーズ』をアンインストールしてください。
3. 「大臣メッセージ」をアンインストールしてください。

⑧【Aの場合のみ】『大臣シリーズ』スタンドアロン版、ピアツーピア版のホスト、IBSQL Serverをアンインストールします。

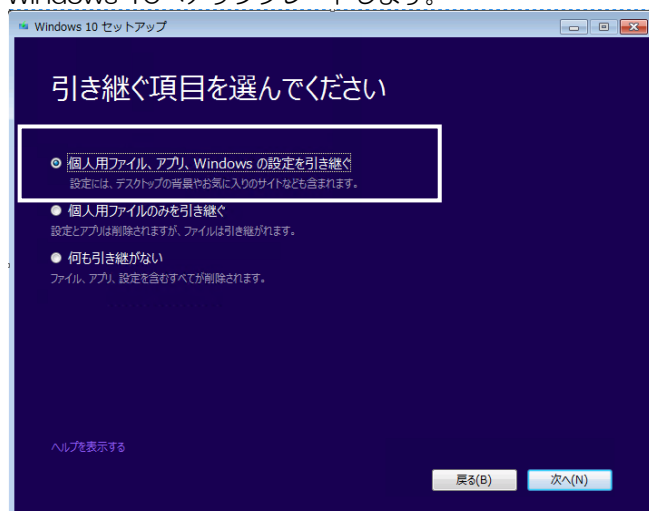
1. スタンドアロン版、ピアツーピア版のホストのコンピュータで、[コントロールパネル]－[プログラムと機能]を開きます。
2. 『大臣シリーズ』をアンインストールしてください。
3. 「大臣メッセージ」をアンインストールしてください。
4. IBSQL Serverをアンインストールしてください。

⑨【Aの場合のみ】OHKENフォルダをリネームします。

コンピュータで、C:\Program files\OHKEN（64bitの場合はC:\Program files(x86)\OHKEN）を右クリック、名前の変更をクリックします。OHKEN以外の名前（例：OHKEN-OLD）に変更してください。

※ Cドライブ以外の可能性もあります。

⑩ Windows 10へアップグレードします。



必ず「個人用ファイル、アプリ、Windowsの設定を引き継ぐ」を選択してください。

この項目以外を選択すると、SQL Serverや『大臣シリーズ』、フォルダ等がすべて消えます。

※ アップグレードの手順は、マイクロソフトのホームページ等でご確認ください。

⑪【Aの場合のみ】SQL Server 2014/2012をインストールします。

- ・②でIBSQL Serverのインスタンス名がOHKENの場合

Windows 10対応版の『大臣シリーズ』セットアップCDから、SQL Server 2014 SP1をインストールします。そのまま⑫の処理に進みます。

インストール手順は、セットアップCDの「マニュアル」－「セットアップ」を参照してください。

- ・②でIBSQL Serverのインスタンス名がOHKEN以外の場合

1. 別ソフトからSQL Server 2014/2012をインストールしてください。（手順は別ソフトの販売先にお問い合わせください）

2. ①の方法でSQL ServerのService Packのバージョンを確認します。

Microsoft SQL Server 2014の場合はSP1以上

Microsoft SQL Server 2012の場合はSP2以上

であるか確認してください。Service Packのバージョンが低い場合は、Microsoftのダウンロードセンターから「Microsoft SQL Server 2014 Service Pack 1」「Microsoft SQL Server 2012 Service Pack 2」をダウンロードし、インストールをしてください。

⑫【Aの場合のみ】『大臣シリーズ』をインストールします。

Windows 10対応版の『大臣シリーズ』セットアップCDから、『大臣シリーズ』をインストールしてください。

インストール手順は、セットアップCDの「マニュアル」－「セットアップ」を参照してください。

⑬【Aの場合のみ】⑥で作成したバックアップを復旧します。

1. 『大臣シリーズ』を起動します。

共用データを復旧する場合はF8[共用復旧]、データコピーを復旧する場合はF2[データ復旧]から復旧してください。

2. ③で確認した設定にします。

3. ピアツーピア版の場合は、④で確認したユーザーを登録します。

⑭【ピアツーピア版の場合のみ】ホストコンピュータで以下の設定をします。

- ・OHKENフォルダの共有
- ・ローカルセキュリティポリシーの設定
- ・ファイアウォールの設定

設定方法は、セットアップCDの「マニュアル」－「セットアップ」を参照してください。

⑮【ピアツーピア版かつAの場合のみ】『大臣シリーズ』クライアントをインストールします。

インストール手順は、セットアップCDの「マニュアル」－「セットアップ」を参照してください。

応研株式会社